

## 事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和6年3月12日

事業所名 ロザリオ発達支援センター ふたば保育園

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	9	0		
	②	職員の配置数は適切である	9	0	看護師は他施設から協力を得ている。	必要に応じて、聖母療育園から看護師の応援が来ています。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	9	0	また転倒対策でセラピーマットを使用しています。	今後は利用児の状況を踏まえながら構造化を進めています。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	9	0	毎日保育室内の清掃週に一度セラピーマットを外し清掃しています。 アルコールでドアノブを除菌	雨天時や行事、活動内容により、活動の場所をかえて行っています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	9	0	全職員が利用児に関する会議に参加できるように配慮しています。 ケース会議、モニタリングを行い、振り返りを行い統一した支援に努めています。	常に全職員が情報共有が出来るように努めています。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	9	0		アンケートの意見を受け止めて改善に努めます。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	8	1	事業所にホームページはないため、法人のホームページにて公開しています。 センター内にも展示公開を行っています。	ホームページ以外の方法を検討中
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	9	0	令和4年度にて外部第三者評価を実施。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	9	0	職員が全員参加する会議にてTEACCHプログラム研修会に参加。他施設見学、法人内研修を実施しています。	職員の希望する事業所へ見学に行けることになり、少しずつ外部研修の機会が増えているため、積極的に職員の意見を取り入れ研修を重ねていきたいです。
	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	9	0	連絡ノートや送迎時、情報を得て課題点、改善点を話し合っています。	

適切な支援の提供	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	9	0	絵カードやタイマーを使用しています。 事業所独自のアセスメント用紙を使用。	
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	9	0		
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	9	0		
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	8	1		毎月のプログラムを職員で話し合い立案しています。
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	9	0	季節を感じる事が出来る行事をしています。	歌やダンス、ムーブメント、リラクゼーションなど取り入れ行っています。
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	1	子供に合わせて児童発達支援計画を立てている。	PT、STの専門スタッフの評価やアドバイスを取り入れ支援計画書をたてている。
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	9	0	毎朝朝礼をし、活動内容や昼食介助の分担等の確認を行っています。	後からでも確認できるようにホワイトボードに記載し情報を共有しています。
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5	4		その日にあった問題点は、職員間で共有している。
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	9	0	記録後やケース会議で行っています。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	9	0	半年ごとに見直しを行っている。ケース会議を月1回実施しています。	
関係機関や保護者との連携関係	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	9	0		会議が行われる場合は、サービス管理責任者が参加しています。
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	8	1	保護者を通して情報を得ています。	
	㉓	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	9	0	保護者を通して情報を得ています。 必要に応じて関係者会議をしています。	
	㉔	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	9	0	協力医療機関（聖母療育園）と連携を図っています。	

機関や保護者との連携	②⑤	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	必要がある場合相談スタッフを通して連携をとっています。 併用する保育所と情報を共有するように努めています。	
	②⑥	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	0	年長のみ就学に向けて情報共有を行っています。	
	②⑦	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	8	1		旭市発達支援センターの研修を検討中
	②⑧	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	7	感染症になると重症化しやすい子供たちがいるので今は難しい。	職員の子供達から取り組んでいけたら良いと考えています。
	②⑨	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5	4	管理者や相談スタッフが自立支援協議会に参加しています。	
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	9	0	登園時や降園時の際にその日の様子等を伝えています。	
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	3	6	専門的な知識の取得は必要。	ニーズがあれば検討していきたいと思っています。
	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	8	1	契約時に説明を行っています。	
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	9	0		
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	9	0	保護者より相談時、対応しています。 必要に応じて専門スタッフにつなげています。	
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	8	保護者会は行っていませんが、行事や健康診断などで保護者同志が交流できる場になっています。	お迎え時に保護者同士話をしている。 保護者参加型の行事の際に交流している。
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	9	0	相談の内容によって、専門スタッフに繋げています。	

	③7	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8	1	おたより 年4回 月1回 活動予定、行事手紙を配布しています。	ロザリオ広報などで発信していきたいと考えています。
	③8	個人情報の取扱いに十分注意している	9	0		個人情報の利用目的など諸否通知書にて確認しています。 取り扱いには十分に注意しています。
	③9	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	9	0		子どもに合わせ、言葉だけでなく視覚的にわかるように努めています。 言葉は短くわかりやすく努めています。
k	④0	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	5	4	福祉まつりや法人合同防災訓練を実施しています。	福祉まつりがコロナ禍で中止になっていますが、再開した際には地域の皆様に楽しんで頂きたいと思います。
非常時等の対応	④1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	9	0	防災訓練 月1回行っています。 (地震、津波、火事、風水害)	計画的に防災訓練を実施しています。
	④2	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	9	0	避難訓練を実施。	救出訓練は出来ていないので今後検討したいと思います。
	④3	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	9	0	アセスメントで確認しています。 保護者から主治医からの注意することを情報共有しています。 薬手帳をコピーして保管しています。 変更時、随時、お願いしています。	
	④4	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	9	0	入園の際、アセスメントにて情報共有を行っています。 主治医から病気、障害等の注意点が記載された意見書をお願いしています。 保護者から病院受診結果を情報共有しています。	
	④5	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	1	全職員が出席する会議にて共有しています。ヒヤリハット、事故報告書を回覧し	ヒヤリハット事例集は今後検討してまいります。

				て、職員に周知しています。	
④6	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8	1	毎月、外部の職員を招き、虐待防止委員会を実施し、確認をしています。研修動画も視聴しています。	虐待に関する外部研修を増やしていきたいと思います。
④7	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	9	0	虐待防止委員会の中で、協議し、決定	

○この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

※未記あり